

浦安とみおか川柳会

出席者： 塩見和昭、高橋謙哉、谷口勝、長谷川智、三浦みちえ、藤三休、山岸順、山口しだれ、山口昇柳

十二月例会結果

講師： 佐藤青樹

師奨 課題「顔」互選 講評*佐藤青樹

11 嫌なこと全て消し去る子の寝顔 順

「嫌なことを消し去るのは」子でしょうか、親でしょうか

6 医者の顔じつと見詰めて結果待つ みちえ

一読明快で、「じつと見詰めて」に不安の様子読み取れる

4 顔ぶれを読んで参加のハガキ出す 順

参加者を予想しているんですね。でもどんな会なのでしょう

幸せに満面の笑みシワ増える 勝

自分のことか、他人のことかよくわからないのでは

広い顔狭い門戸をこじ開ける 和昭

「広い顔」と「狭い門戸」の対比が効いていますね

健さんの顔で出て来る映画館 順

「顔で出て来る」の解釈が難しい句

3 整形も顔まけ友のメイク術 ひかる

一読明快で絵が見える句。「整形も顔負け」が効いている

2 万民を優しく包む釈迦の顔 勝

子寝顔を見て微笑んでいる親の姿が見える句

OBの名前分らず写真とり 智

卒業記念写真などで調べるのでしょうか

1 老いとねえほらあの人よあの人よ かおる

どんな場面なのでしょうね

老いてこそその味ある顔を持ちたい しだれ

六八四か六、十二の句でしょうか

いつまでもコロナ怖くてマスク掛け 智

一読明快の句

へらず口ムンクのように捻られる 和昭

へらず口を叩いてムンクの「叫び」の絵のように

口を捻られたのでしょうか

1 整形へ別の人生あつたかな しだれ

「整形へ」は、これから整形をするのでは

いつの世も夜の帝王幅効かせ 謙哉

夜の帝王(顔)が物を言うのですね

妻の顔外して今日は壁の花 みちえ

「妻の顔外して」と「壁の花」の解釈が難しい句か

長米寿ワクチンに勝ち笑顔生き 昇柳

「長米寿」がよく分らないのでは

振り向く清水寺で超美人 三休

どうして清水寺で振り向いて欲しくないのかよくわからぬ

すご美人近くで見たらマネキンだ 三休

「すご美人」「マネキンだ」の表現に一考を

選挙にて地盤看板顔つなぎ 謙哉

一読明快の句だが「にて」は一考を

辛いけど意地のドヤ顔富士登山 ひかる

選挙戦地盤看板顔つなぎ

おべんちやらたまに上司の顔を立て みちえ

絵が見える句

役停の顔パスまでも封じられ 和昭

「役停」という言葉は、広辞苑や大辞林には出て

きませんが、業界用語でしょうか

定年後顔パスまでも封じられ

顔造作女性悩ます一大事

句意は分かれますが女性から抗議を受けそう

マスクとり素颜さらして美人顔

一読明快の句

独裁者名誉面目ご執心

一読明快の句

一読明快の句

一読明快の句

川柳いろいろ

没句

互選（顔）

都心治下笑顔裏声パーフェクト

難解の句か

練習差負け戦さ耐え見返すぞ

課題の「顔」はどのフリーズにある

一人選（夜）

政治家は夜の帳で目隠しし
お静かにフアルセットやる夜だけや

秋夜なが脱老化本元気でる

昼と夜別人の顔軽井沢

目が覚めた夜が俺から逃げてった

年寄り古い花捨てて現花盛る

猛暑日を夜通し冷房値が上がる

自由句

温暖化ペットの犬がホットドッグ

朝は今ほじけて空に鳥が鳴く

ハロウィンコスプレだけが定着し

政治家はすり抜け道を一直線

楽し生き裏声余裕本当や

縄のれん会議よりも盛り上げる

温暖化頭の中は冗談家

大掃除やる気十分窓光る

奥入瀬の溪流心気本当や

夏祭り老い除く女子本当や

川柳の理論と実践 新家完司

下五の止め方・ら（い）抜き言葉

・下五の止め方を考える

作文の技法として「起承転結」とか「序破急」という言葉がありますが、すべての文章や物語がこのような構成になっているわけではありません。

わずか十七音の構成を細かく分けて考えることに

意義があるとは思えません。このことを承知の上で

あえて下五の形を考えようというのは、下五の止め方

によって句の印象がかなり違ってくるからです。

●終止形による止め方（終止止め）

・ 幸せな時にはじっと手を見ない

・ 早起きをすれば昼寝がしたくなる

・ ひげを立てて子猫は風の中にいた

・ ほめ言葉は麻薬のように心地良い

終止止めでは作者自身の行動や想いをハッキリ述べた形になり読者に訴える力が強くなります。

現代川柳は「自分を詠う」ことが当然のようになって

きています。自らの主観を明確に述べるには終止止め

が適していますので、発表される作品の多くがこの

形になっています。

●連用形による止め方（連用止め）

・ 肩書のない身忘れぼく暮し

・ よい酒の客家中で送り出し

・ 八十の恋村中をかけめぐり

・ 今夜咲く月下美人を妻と待ち

連続性の語尾によって余韻や軽快さは捨てがたいもの

があり、この形を好む人も少なからずいます。

終止止めの句と比較すると古い印象を受けます。

「暮し」「送り出し」は他人事を無責任に詠っている

ように誤解されることもありできるだけ避けたほうが

いいでしょう。

前の句「：：暮す」「：：送り出す」と終止形にする

と作者自身の行動を詠っているのか明確になります。

「ありがたし」「うずたかし」などの終止形のもの

対象ではありません。

鑑賞 犬吠 令和四年一月号より

フラワライオン

・ 千紫万紅より

裏ばかり読んでコメディイ笑えない

美味しい予感シェフ肥満体

よそよそしい顔でサンマ並べられ

パリコレの顔で出て来る試着室

入れ歯では全体主義は噛みにくい

お迎えは道に迷ってまだ来ない

子の老後を心配している親心

自転車のハンドルきつく握りすぎ

ラジオでは解らぬままのパラ五輪

スポーツマンいい人だけと限らない

・ 黒潮集より

生ごみの袋いっぱい生きている

森を見ず木を見て自我を押し通す

解説書カクナばかり鯛の骨

その先のこと息子の嫁次第

決断をすると元氣もついてくる

金波銀波（各地句会報）より

あふれでるその優しさに溺れそう

ケアマネは生きぬく母の道標

老境の深み一日すぐに暮れ

オリパラのボランティアにも金メダル

コロナ禍が飽きずに散らすカタカナ語

もう一杯味覚チェックの酒の味

よくもまあすらすらと出る嘘の山

結末へ口は忍の字眼はへへへ

主婦の性もつたいないと胃に仕舞い

思うこと全部かなった今日の夢

期限切れ味は夫の口に聞き

つまみ食いよくぞつまんだ億の金

AIがヒトを仕切っている未来

危機の芽が地球に根付く温暖化

- 中島かよ
- 大石橋徹
- 中野良子
- 小林洋子
- 京増京介
- 鈴木諄三
- 伊野悠香
- 田辺サヨ子
- 板谷鈍基
- 小松和男

- 古川大晴
- 竹下圭子
- 磯崎ひろこ
- 川口雅生
- 米島暁子

- 藤田実子
- 吉田貞恵
- 丸山くみ子
- 松野久美子
- 柳沼憲二
- 羽柘田廣
- 関屋玲子
- 木戸香穂子
- 西澤はるか
- 後藤華泉
- 小倉勝利
- 森本かつと
- 今別府文乃
- 象川 孝

互選句 課題「取り戻す」

令和六年 一月例会

浦安とみおか川柳会

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
夢で見た美人に会えるとまた眠る	バラの花よ君の心をもう一度	メールして相手間違えさまよった	認知症むかしむかしを取り戻す	老老の介護終わって笑顔出る	柱の傷父の記憶も蘇る	株下落取り戻そうか胃が痛む	九回の裏で逆転ホームラン	パレスチナテロと仕返し永遠に	合唱で元気取り戻すゲーム	かたつむりどこへ行っても持ち家だ	自由な時間取り戻したら持て余す	ライバルに注文取られ夢の中	軍配をビデオが戻す勝ち名乗り	まだらボケ取り戻せない記憶力	こっそりとエステで伸ばすマスク下	突如染み食費削ってコスメ買う	蟠りとけて家族の輪が丸い
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
								ドジ社員宴会部長に昇格す	病んだ脚夢の中ではまだ走る	バラの花送る相手の行き違い	子育てのスニーカーからハイヒール	武器を捨て平和の日々を取り戻せ	利用後の姿夢みてライザップ	高齢もしゃれたウエアのヨガコース	介護して親子の絆取り戻す	ウクライナ領土回復譲れない	ワクチンで元気取り戻すレベル